

平和を求め祈りと祭典

평화를 위한 기도와 제전 / Prayer and Festival of Peace



平壤の地下鉄で (撮影: 伊藤孝司)

なぜ私は朝鮮半島に関心を持ち続けているのか

いとう たかし

【講師】伊藤 孝司 氏

【とき】2020年8月9日(日)

開会礼拝 15:00 / 講演 15:30 (1時間予定)

【ところ】在日大韓基督教会名古屋教会

7階 礼拝堂 ※席上献金あり

〒450-0002 中村区名駅 2-39-11
TEL052-541-1980/FAX052-541-1982
<http://www.kccj-nagoya.or.jp>



各線名古屋駅より北へ徒歩5分。
ホテルサンルートを右折すぐ。

※公共交通機関をご利用ください。
車の方は、コイン駐車場をご利用ください。

1952年長野県生まれ フォトジャーナリスト
(社)日本写真家協会会員/日本ジャーナリスト会議会員

日本の過去と現在を、アジアの民衆の視点からとらえようとしてきた。アジア太平洋戦争で日本によって被害を受けたアジアの人々、日本がかかわるアジアでの大規模な環境破壊を取材し、雑誌・テレビなどで発表。現在は朝鮮半島での取材に力を入れており、大韓民国47回・朝鮮民主主義人民共和国43回の取材をしている。

<著書>

『朝鮮半島で見た〈日本〉—知られざる隣国との絆』(岩波書店)
『無窮花の哀しみ—証言 〈性奴隷〉にされた韓国・朝鮮人女性たち』(風媒社)など多数。



※本祭典での写真・ビデオの撮影は禁止させていただきます。

【主催】「平和を求め祈りと祭典」実行委員会 【代表】岩本和則(日本基督教団)/蔡銀淑(在日大韓基督教会)/井上一雄(日本キリスト教会)
【後援】在日大韓基督教会 中部地方会 / 日本キリスト教会 近畿中会

第15回「平和を求める祈りと祭典」開催のお知らせ

「平和を求める祈りと祭典」実行委員会

主の聖名を讃美いたします。

暑さが日ごとに加わるなか、十字架と復活の主を証する宣教伝道の業にお励みのことと存じます。

来る8月9日(日)午後3時より、第15回となる「平和を求める祈りと祭典」を、在日大韓基督教会名古屋教会にて開催いたします。

今回は『なぜ私は朝鮮半島に関心を持ち続けているのか』と題して、伊藤孝司さんを講師にお迎えします。伊藤さんは、韓国において「旧日本軍慰安婦」問題が大きく注目されることになった1990年前後より、日本人フォトジャーナリストとして現地へ足を運び、終わらない戦後を生きる数多くの被害者の方々との出会いを記録し、日本へと紹介されてきました。それからすでに30年を経過した現在、両国間の狭間には、依然、深い隔たりが刻まれたままですが、集会を通して、いまだ十分に理解されない当事者自らの思いに寄り添うための手がかりを、僅かにでもその一端を見出すことが出来ればと願っています。

在日大韓基督教会中部地方会は第43回定期大会(2006年5月16日)において「平和を求める声明文」を採択し、8月15日=光復節に近い平和統一主日において、共に祈るプログラムの開催をこの声明文を通して中部地方のキリスト者に呼びかけました。この呼びかけに応じて集まった有志で準備を始め、「平和を求める祈りと祭典」として2006年の第1回以降、毎年8月に開催してまいりました。

- 第1回『多民族と多元文化の時代の平和』講師：金聖在
- 第2回『イエスの夢・柳寛順の夢・わたしたちの夢』講師：柳大河
- 第3回『わたしの隣人とは誰ですか?』講師：梶原 壽
- 第4回『悲しみに応えて』ピアノ演奏・講師：崔善愛
- 第5回『「私には浅田先生がいた」～出会いに感謝して～』講師：康玲子
- 第6回『日本で育つ、育てられるとは～在日外国人の立場から～』講師：許伯基
- 第7回『新入管体制がもたらすもの～多文化共生社会に向けての課題～』講師：金成元
- 第8回『沢知恵 平和の祈り コンサート』歌・演奏：沢知恵
- 第9回『命の叫びに応えて～日本軍「慰安婦」問題解決のために～』講師：梁澄子
- 第10回『ヘイト・スピーチに抗して～アンチ・ヘイト・クロニクル～』講師：李信恵
- 第11回『"枯れた骨"を照らす光』はどこに～強制連行の足跡をたどる軍艦島の光と影』講師：犬養 光博
- 第12回『わたしの住むまち～朝鮮学校無償化除外の背後にあるもの～』講師：金銘愛
- 第13回『パギヤンライブ! LOVE & PEACE!!』講師：趙博
- 第14回『3.1 独立運動とキリスト者～思想と方法論を中心に～』講師：徐正敏

(敬称略)

多くの方々のご協力と参加、そしてお祈りのもと、このように取り組みを重ねてまいりました。

平和を求める交わりを、今回も皆様とともに分かち合いたいと願っております。お誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。

みなさまへの神さまからの祝福をお祈りいたします。